

# 夏休み公開講座

## ～もっと知ってほしい小児がんの事～

2019年を最後にコロナ禍の影響により休止していた「夏休み公開講座」が、2025年に6年ぶりに開催されました！この講座は、小児がんについて一般のこどもたちに関心を持ってもらうことを目的に企画されたもので、病気への理解を深めるとともに、命の大切さや医療の現場について楽しく学べる内容となりました。

神奈川県立こども医療センター  
**夏休み公開講座**  
もっと知ってほしい小児がんのこと

**2025年8月2日(土)**  
時間: 10:00-13:30 (開場 9:30)  
場所: 神奈川県立こども医療センター 体育館  
対象: 小学校4年生～中学校3年生(定員50名)  
およびその保護者

**プログラム**

|             |      |                                                                  |
|-------------|------|------------------------------------------------------------------|
| 10:00-10:05 | 開会挨拶 | 小児がんってどんな病気？                                                     |
| 10:05-10:20 | 授業①  | ～ 後藤 裕明 医師(腫瘍・血液・腫瘍科)                                            |
| 10:20-10:35 | 授業②  | 小児がんはこうやって見つける！治す！<br>～ 北河 博幸 外科部長/小児がんセンター長                     |
| 10:35-10:50 | 体験談  | 小児がん経験者                                                          |
| 10:50-11:05 | 体験   | がんの検査や治療を体験しよう                                                   |
| 11:05-11:30 | 体験   | ① がん細胞を顕微鏡で見てみよう<br>② エコー検査をしてみよう<br>③ 模擬手術をしよう<br>④ 内視鏡をのぞいてみよう |

**申込方法**  
申込専用フォーム・QRコード  
<https://bit.ly/4x0w6ro>  
※必ず7/14からの返信を要するよう敬請いたします。

**申込期限**  
7月14日(月)

【主催】 神奈川県立こども医療センター  
【協賛】 横浜市民健康促進財団がん・血液科医療  
【問い合わせ先】 神奈川県立こども医療センター 小児がんセンター  
〒220-8555 神奈川県横浜市磯子区六ツ子1-1-4  
TEL: 045-751-2061 email: shougan.2041@kanagawa-pho.jp

参加対象者は小学4年生から中学3年生まででしたが、定員50名で募集を行ったところすぐに定員に達するほどの反響があり、関心の高さがうかがえました

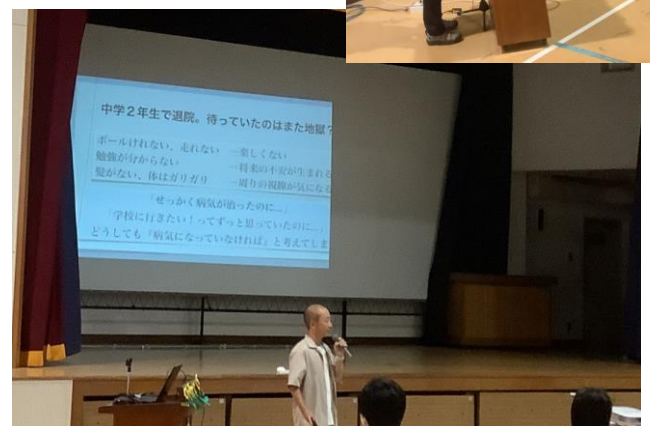
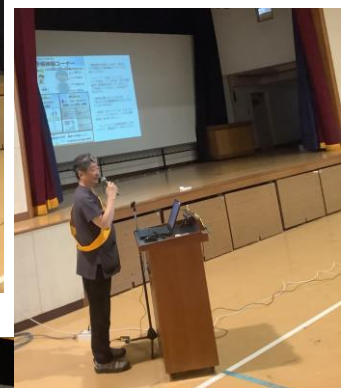


前半は医師による小児がんについての授業。

“小児がんってどんな病気？”で病気について知ってもらい、  
“小児がんはこうやって見つける！治す！”では治療法についてお話ししました。

続いて小児がん経験者のかたのお話です。

辛かった治療や悲しかったことを振り返りながらも、今を前向きに生きるという強い気持ちが伝わってきました。こどもさんも保護者のかたも真剣に聞き入っておられました。



休憩時には**レモネードスタンド**で喉を潤しながら、レモネードスタンドの活動について知ってもらい、応援メッセージをお寄せいただきました。  
院内1階の渡り廊下に掲示しています。  
レモネードの売り上げは寄付されます！



横浜市主催の**メタバース体験コーナー**では日頃からPCやスマートフォンになれていることもありすぐに慣れ、アバターを使って自由に移動したりクイズに挑戦したり、学びと交流の場が広がりました。

★いちにちドクターにへんしん！！★



手術帽をかぶって…



介助者に後ろを留めてもらい…



じゃん！できあがり！

# 医療体験 がんの検査や治療を体験してみよう

## 顕微鏡体験コーナー

**ミニレクチャー  
「がん細胞をみてみよう」**

胎児(お腹の中の赤ちゃん)の腎臓に似てます(腎芽腫)

血液のがんの仲間です(ホジキンリンパ腫)がん細胞の線分を探してみよう!

がん細胞自身が骨を作ってます(骨肉腫)

皮膚や、脳、腸管、骨、軟骨、歯もできます(成熟奇形腫)歯はどれだろう?

まずは、顕微鏡をのぞいてみよう!  
両目でみられるかな?



真剣にのぞいてます  
何が見えるのかな?



## 腹部超音波検査(エコー検査)

エコー検査ってなに?  
機械の先端から超音波を出し、跳ね返ってきた超音波を画像として見る検査だよ。  
身体の深い部分にある病変も見つけることができるよ。

エコー検査の特徴

- ①空気は苦手⇒ゼリーをつけて身体に密着させよう。
- ②骨や硬い組織は通れないよ。
- ③超音波が体をすり抜けるだけなので、痛くないよ。
- ④赤ちゃんから大人まで、安全に検査ができるよ。

エコー検査の手順

- ①検査を受ける人は、台の上にお腹を上にして横になろう。
- ②検査を行う人は、ベッドの右側に座ろう。
- ③エコーにゼリーをたっぷりつけて、身体に当ててみよう(ゼリーで服が汚れないように注意しよう)。
- ④少し押ししたり、傾けてみたり、スライドさせてみると、探している臓器が見えたりするよ。

からだの臓器を見てみよう

**心臓** 全身に血を送るポンプの役割だよ。  
1分間に5Lもの血液を全身に送っているよ。  
右胸の肋骨の隙から見てみよう。忙しく動いているのが心臓だよ。

**肝臓** 栄養を貯めたり、不要な物質を分解したり、消化液を作っているよ。  
右胸の肋骨の隙から見てみよう。  
中に血管がたくさん通っているよ。

**腎臓** 尿を作って、身体の中の水分やミネラルの調整をしているよ。  
両脇にあるよ。背中から見てみよう。  
豆みたいな形だよ。



ゼリーをぬって...  
くすぐったい!  
ここは何の臓器?



しゅじゅつ たいけん  
**手術体験コーナー**

まずは準備から これで君も立派な外科医のたまごだ！

ほうし  
マスク  
てぶくろ  
ガウン

へんしん  
変身！

**Mission 1**  
キスをなおせ！  
(縫合の練習)

① ② ③ ④

① ピースをつみあげろ！  
(腹腔鏡（カメラ手術）の練習)

① ② ③

針は危ないので、気をつけましょう  
ケガすることもあります。



左利き？  
でも持針器は右で持ってね！  
体験とはいえ本番どおりのやり方で  
指導にも熱が入ります



しょうか かんない しきょうけん さ  
**消化管内視鏡検査**

しょうかかん た もの どの みち  
消化管（食べ物の通り道）はトンネルになっている！

しょうど う たい もの い つか はこ  
食道 食べ物を胃の中へ運ぶ

い いさん た もの と  
胃 胃酸で食べ物を溶かす

しょうちやう えいようぶん きやうしやう  
小腸 栄養分を吸収する

だいちやう すいぶん きやうしやう  
大腸 水分を吸収する

ないしきやう しょうかかん なか かくだいし びやうき み だ  
内視鏡は消化管の中を拡大視して病気を見つけ出す！

せんたん せんし りやうて じやうぶ ぞうさ  
先端のレンズによって小さいものも大きく見えます  
術者は左手でダイヤルを、右手で内視鏡の先を持ちます  
モニターを見ながら消化管の中を観察します  
両手で上手に操作できるかな？

じっさい じやうぶ ぞうさ  
実際には下のように観察できます  
左：正常な胃 右：胃がん

もけい づな  
模型を使って  
内視鏡を  
体験してみよう！



体内に見立てたダンボールの中を  
右へ左へクネクネ



## 参加者のメッセージ

がん、と聞くと、重い病気で治らないというイメージをまだ多くの人が持ったままだと思います。私も、心のどこかでそう思っていました。ですが、治療法など詳しく知れたことで、より治る可能性の高い病気であると実感することが出来ました。このような機会が増えて、より多くの人に正確な知識を届けられたらいいなと思いました。

小児がんは大変な病気なことを知ったのでレモネードスタンドなどに支援は大事なんだなと思いました。



こどもも親もとても勉強になりました。  
子どもは特に手術体験が印象に残ったようです。

小児がんのことをたくさん知れてよかった。  
小児科の先生になりたいとさらに思った。  
またあったら行きたいです。

小児がんになった事がある人が実際に来て話を聞く体験が出来て、考える機会になった。

触ったことがない器械を触れたり、手術体験のコーナーで縫ってみたいととても驚いたし楽しかったです。  
私の妹が病気で、いつも先生たちに助けってもらっているの、どんな治療や検査があるのか知れて先生たちの凄さも分かりました。私も、将来病気の人を助けられる人になりたいです。



先生やスタッフが額につけている  
【額帯鏡】は  
入院中の患者さんが手作りしてくれました！



今回のイベントには、たくさんの方が来てくださり、会場はとても賑やかになりました。  
お話を聞くときは真剣な表情で、小児がんについてしっかり考えてくれているのが伝わってきました。  
楽しく学びながら大切なことを知ることができた一日になりました。  
医療スタッフもみなさんの真剣な様子に元気をもらいました。  
またこのような機会を設けていきたいです。ありがとうございました。